

社会福祉法人 せんねん村

日時：平成30年3月2日（金）午後6時～

会場：社会福祉法人せんねん村矢曾根
4階研修室

講師：元東三河教育事務所家庭教育相談員
藤城 精一 氏

講演：『子どもは温かい言葉を待っている』



木材を多く使った素敵な施設

社会福祉法人せんねん村は、特別養護老人ホームやグループホームなどの高齢者施設や保育園を運営しています。地球環境問題に積極的に取り組む運営方針から、木材をふんだんに使用した温かい雰囲気の施設が整備されました。

今回は、若い保育士さんを中心に20代から50代までの男性9名、女性26名の方々が一日のお仕事にひと区切りをつけて参加されました。



熱い語りの藤城先生

学校現場での豊富な経験を持つ藤城先生は、恵まれな家庭環境の中で、懸命に生き抜く子どもたちの思いを参加者のみなさんに熱く語りかけられました。

東井義雄氏の詩「どの子も星」を朗読したり「上手なほめ方、上手な叱り方」、「教師に言われたくない言葉・言われたい言葉」などを紹介したりしながら、「子どもは温かい言葉を待っている」というテーマに迫っていきました。結びに、「家庭の日」のポスターを手に、家族団らんの必要性を語られました。



熱心にメモを取られる参加者のみなさん

参加された方々の感想より

- 言葉の言い回しによって、相手の受け取り方が違うことについて改めて気づきました。子どもたちに大事なお話をする時には、言葉や言い方や表情に気をつけたいと思います。
- 子どもをほめることについて、日頃から意識はしていましたが、十分ではなかったように感じます。今回伺ったお話のように、たくさんほめてあげたいと思います。また、子どもには汚れないように注意をする声ばかりをかけていましたが、時にはたくさん汚して遊んでもいいような環境を作ってあげたいと思います。
- 子どもを認める言葉がけや子どもの気持ちを受け止めることの重要性は、重々理解していたつもりでしたが、今回の研修を受けてみて、再度認識できました。また、実際にあったエピソードを基に話していただき、ためになる話ばかりで勉強になりました。